

フォレストニュース

春爛漫 イペーが咲く

日本の桜のように、パラグアイ全土で、ピンクの花を咲かせるラパッチョ（桃色イペー）は南米を代表する、春の花です。少し遅れて、白花イペーや、黄花イペーも咲いてきます。

春の訪れとともに様々な花が咲き誇る南米。皆さまから植樹していただいた花々が競うように咲き始めます。上の写真は

大滝順治さんから送られてきたものです。



ツユコの 飛来する地

下の写真は、飯野貞夫前理事が現地で撮影してきたものです。遠くから見る

と人がいるのかなと思うほど大きな(1.2メートル)鳥です。パンタナール最大の鳥。コウノトリ科でツユコ(スグロハゲコウ)が、飛来するところがレダにあります。パンタナールの地で、空高く飛翔しながら、また、踊りながらカップリング。そして、それぞれが、カップルとなって、巣を作り卵を産んで、雛を育てるために、また飛んでいきます。

ツユコは一度カップルとなると一生を夫婦で過ごし、協力をしていくそうです。

エコツアーの聖地でもある、パンタナールには、いつも同じペアのツユコがえさをついばん



でいます。パンタナールの豊かな自然をいつまでも未来に残していきたいものです。

深刻な温暖化

7月8日NASA
-4年間で北

極の氷67センチ薄く=海水温上昇で悪循環と警告

米航空宇宙局(NASA)は7日、観測衛星「ICESat」のデータを分析した結果、北極の海氷の厚さが2004年から08年までの4年間に、約67センチ薄くなったことが分かったと発表しました。

NASAは「近年、夏場に消失した氷を冬場に補うことができなくなっている。海を覆う氷が減少すると、太陽の光はますます海に吸収され、海水温の上昇を招き、氷を溶かす悪循環に陥っている」と警告しています。

調査はワシントン大学と合同で実施。北極の氷は04年から毎年約17センチずつ薄くなるとともに、夏場を乗り切った古く分厚い氷の比率も減少。古い氷は、アラスカ州に相当する面積が縮小したことになります。

お知らせ

*植樹ボランティア隊が8月末、パラグアイに出発します。今回もインディオの村に、ニームを植林します。今回は18号に出たような、種を採集し、ポット苗として育てています。また、シュウダレステの育苗所でも多くの苗を育てています。

*フォレストニュースはメールでの配信となっています。配信希望はメールでご連絡ください。(戸石)

NPO地球の緑を守る会

発行 高津啓洋

〒158-0097

東京都世田谷区用賀4-34-12

グリーンハウスNo.2-231号

電話:03-5717-9358 FAX:03-5717-9359

ホームページ: <http://midori.mond.jp/>

E-mail: midorinokainpo@yahoo.co.jp